



# とくしま元気印 イノベーション 人材育成プログラム ニュースレター

Vol.5

2018.12

## CONTENTS

- ご挨拶
- 平成30年度の事業概要について／コンソーシアム構想について
- 会議の報告
- 【四国大学】創業支援事業の取り組み
- 【徳島大学】実践力養成型（寺子屋式）インターンシップの取り組み
- 協働事業の報告
- 今後の予定事業



【徳島大学】中間報告会の様子

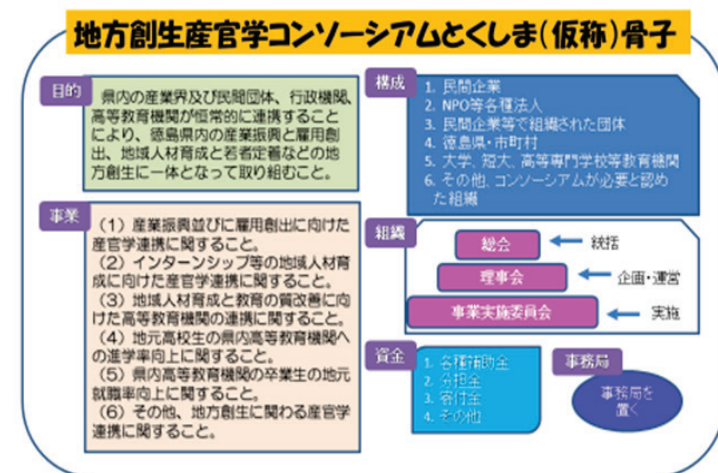
## ご挨拶 COCプラス推進監 玉真之介

みなさま、COC+も4年目を迎えています。来年度が最終年度です。そこまでに県内就職率を事業開始年から10%向上するのが目標です。これは達成が難しいかもしれませんが、しかし、この4年間の取組の中で、3つの重要な成果が生まれてきています。1つは、県内高等教育機関の連携です。6つの大学・高専が協力して集中講義「徳島の魅力、徳島で働く」を開講しました。これはかつてなかった高等教育機関の連携です。2つ目は、地域人材の育成を目的とした産官学の連携です。そして、3つ目が地域創生に資する新しいインターンシップの開発です。インターンに取り組む学生の能力開発はもちろん、受入企業の経営革新にも貢献する実践力養成型のインターンシップは、今後の地方創生を考えていく上できわめて画期的な取組と言えます。この3点をCOC+のレガシーとして事業終了後もしっかりと継続していく体制を創ることが最重要な課題です。

## 平成30年度事業の概要／コンソーシアム構想について

挨拶でも述べたように、COC+補助事業の終了後も、実践力養成型（寺子屋式）インターンシップをはじめとして、地域人材育成のための事業を継続していくための恒常的な組織を創ることが課題となっています。この課題に応えるために構想しているのが「地方創生産官学コンソーシアムとくしま（仮称）」です。このコンソーシアムは、組織的には県内の民間企業や経済団体、徳島県、そして高等教育機関で構成しているCOC+推進のための「とくしま元気印イノベーション人材育成協議会を引き継ぐものです。ただし、重要な特徴は、組織的には会員制として、事業運営費の一部を会費負担によってまかなう点です。このためには、参加いただく民間企業や経済団体に地方創生につながる人材育成という趣旨の理解のみならず、会員となるメリットが必要となってきます。その意味でも、現在は徳島大学だけで行っている実践力養成型インターンシップを県内高等教育機関の学生にも広げ、このコンソーシアムがインターンシップ推進協議会の役割も担うことによって、学生の能力向上のみならず、地元企業の経営革新につながる事業として行くことが重要と考えています。そうしたコンソーシアムの趣旨と事業内容を伝えて、事業終了年度に向けて準備を進めています。

## コンソーシアム構想（案）



## 会議の報告

平成 30 年 4 月 25 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 30 年 5 月 14 日	とくしま元気印イノベーション人材育成協議会
平成 30 年 5 月 23 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 30 年 7 月 4 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 30 年 7 月 17 日	徳島大学 COC プラス推進本部執行会議
平成 30 年 7 月 18 日	徳島大学 COC プラス推進機構会議
平成 30 年 8 月 1 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 30 年 8 月 7 日	コンソーシアムプロジェクトチーム会議
平成 30 年 8 月 29 日	平成 29 年度事業外部評価委員会
平成 30 年 9 月 13 日	コンソーシアムプロジェクトチーム会議
平成 30 年 9 月 26 日	教育プログラム開発委員会及び協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 30 年 10 月 31 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会
平成 30 年 11 月 28 日	協働事業に関するワーキンググループ兼参加校協働事業実施委員会

## 【四国大学】創業支援事業の取り組み

### 【とくしまサイコー塾】

将来的な「起業」という選択肢や、起業家の考え方、生き方を知っていただくことを目的とした起業家講演とワークショップを組み合わせたセミナーです。

実施分では「IT、スポーツビジネス、食品開発、藍染め」など様々なテーマで定例会を開催しました。

毎月第二木曜日 18 時 30 分から会場を 3 大学（徳島大学、徳島文理大学、四国大学）で持ち回り開催しています。



### 【社長のかばんもち】

座学では知識を得ることが困難な「経営者の仕事」について、実際に社長に 3～10 日間の期間中つきっきりの状況で経営や経営者の仕事のイメージをより深めていただきます。今期 12 名の学生がかばんもちを実施し、報告会を開催しました。



### 【とくしま学生ビジネスプラン道場】

自分で生み出したアイデアを事業計画に拓げ、人に伝えるプレゼンテーションまでを学びながら競い合う、県内学生を対象にしたビジネスプランコンテストです。今年度は 217 名（105 プラン）の応募があり、平成 31 年 1 月 27 日（日）に最終審査会が行われます。



### 【チャレンジショップ】

商売における全てを学生が実践するプログラムであり、学生自身が実際にコストを背負い、仕入れや必要資材の調達、広報や販売までを行うプログラムです。

今年度は 6 月の一か月間、46 名の学生が 5 チームに分かれ、東新町商店街内店舗にてチャレンジショップを実施しました。



< 四国大学 COC+事業へのお問い合わせ >

TEL : 088-665-9953

E-Mail : [sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp](mailto:sudachisuishin@shikoku-u.ac.jp)

(COC+担当 : 岩野、吉田)



## 【徳島大学】実践力養成型（寺子屋式）インターンシップの取り組み

徳島大学では、教育カリキュラム改革の1つとして、寺子屋式インターンシップの開発を進めています。寺子屋式インターンシップとは、受入団体側にはメンターを、大学側にはドン（学内メンター）を配置し、相互が密に連絡を取り合い、事前学習から事後の振り返りまで「課題・レポート・ディスカッション」を繰り返す「寺子屋式指導法」を取り入れた少人数制の企業の経営課題から抽出したプロジェクトに学生、受入企業・団体がチームになって取り組む課題解決型インターンシップです。

現在、16の企業・団体のプロジェクトに学生45名が挑戦しており、各プロジェクトに1名ずつ教職員をメンターとして、取り組みを行っています。また、昨年、一昨年の当該インターンシップ修了生の有志によって立ち上げられた、インターンシップの取り組みをサポートするチーム、IPPOo (Internship Project Perform Outwork Operation) 9名が各プロジェクトの推進をそれぞれの経験を活かして補助的な役割を担っています。

6月に行った3回の事前研修を経て、プロジェクトが本格始動しました。

そして、本事業の中間時期において、施行中のプロジェクトの現状把握と今後の進め方について再調整を図る機会として、また、自プロジェクト以外の他のプロジェクトの学生や企業との交流の場を設けることにより、今後のプロジェクトの完遂に向けた創意工夫などのヒントを得、かつ具体的な修正案や、プロジェクトを進めていく上での課題等の解決策を策定できる場として、平成30年10月6日（土）に中間報告会を開催しました。本会は、IPPOo及び平成28年度、29年度のインターンシップ修了生計14名が運営し、受入団体、インターン生、ドン、学内関係者など計94名が参加しました。

本会は3部構成で開催を行いました。第1部、第2部では、各プロジェクトの進捗状況をポスターセッション形式で発表し、他のプロジェクト参加者と意見交換を行いました。第3部では、意見交換で得た意見をもとに、プロジェクトチームごとに今後の取り組みについて策定し、発表を行いました。

参加した学生や企業からは「他プロジェクトの進捗や、様々なケースでの改善案を知ることができ大変参考になった。」や「現在の状況について客観的な視点でとらえる事ができ、今後の動き方も明確になったように思う。」などの感想がありました。現在、インターン生たちはプロジェクトの達成に向けて邁進しています。成果報告会は平成31年1月12日（土）を予定しております。

### 【取り組みの様子】

それぞれのプロジェクトで現地調査や成果報告会等が行われています。



社内成果報告会の様子



テストプロモーションの様子



最終報告会の事前説明会を行う  
IPPOoメンバー

### 【中間報告会の様子】



ポスター発表の様子



ワークショップの様子



司会を務める IPPOoメンバー

なお、本事業にて実施するインターンシップは来年度が最終年度となっております。事業の内容や、参画に関するお問い合わせは、ニュースレター最終ページに記載している、徳島大学COCプラス推進本部事務局までお気軽にお問い合わせください。また、本事業の取り組みに関する報告は平成31年2月22日（金）のFD地域人材育成フェスタでも行います。

## 【協働】共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」の報告

平成30年8月20日～23日、参加校で連携して開催する共同授業「徳島の魅力、徳島で働く」が開催されました。「徳島県の将来ビジョン」と「徳島県で働く・暮らす」の2つの観点を学生に伝えることを目的とし、地域の様々な分野で活躍する企業やNPO、行政などのリーダーを講師に迎えて、地域社会の将来ビジョンをご講演いただくと共に、地元で活躍する若手OB、OGから自らのワークライフバランスや仕事のやりがいを語ってもらうプログラムを実施しました。

本講座は、複数の参加校の学生が正課の授業として導入しています。また、今回はメイン会場での講義を映像でサテライト会場である徳島県立海部高等学校、徳島県西部総合県民局に配信し、複数人の高校生も受講しました。徳島大学、四国大学、四国大学短期大学部、徳島文理大学、徳島工業短期大学、阿南工業高等専門学校が連携して、4日間の授業を行い、のべ706名が受講しました。



学生からの質問に答える  
飯泉徳島県知事



パネルディスカッションの様子



サテライト会場の様子  
(海部高校)

## 【協働】「徳島の魅力、徳島で働く～徳島で輝く産業を知る～」の報告

平成30年12月15日に徳島大学共通講義棟創成学習スタジオにて、県内大学、高専、高校の学生・保護者を対象に「徳島の魅力、徳島で働く～徳島で輝く産業を知る～」を実施しました。徳島の未来を創造する①次世代技術、②地域医療・福祉、③6次産業化、④地域づくり・観光・ICTの各分野において、創造的、革新的な経営をされているリーダーたちの講演や、インターンシップ経験者によるレポート、個別企業相談会を通して、多くの人が実は知らない県内企業の今後の産業動向や将来ビジョン、魅力を伝えました。詳細については次号ニュースレターでご報告します。

### 今後の予定事業

**【徳島大学】実践力養成型（寺子屋式）インターンシップ最終報告会（平成31年1月12日／徳島大学共通講義棟創成学習スタジオ、6階フロアほか）**

現在、徳島大学生45名が企業等16の団体で、組織の課題解決に取り組むプロジェクト型のインターンシップに取り組んでいます。プロジェクトを終えた学生の成果報告会を実施します。また、

**【四国大学】「とくしまビジネスプラン道場」最終審査会（平成31年1月27日／ホテルグランドパレス徳島）**

現在、四国大学でビジネスプランコンテスト「とくしま学生ビジネスプラン道場」を進めています。その最終審査会を実施します。最終審査には、二次審査を通過した6チームが挑みます。

**【協働】FD地域人材育成フェスタ（平成31年2月22日／徳島グランヴィリオホテル）**

平成30年度のCOC+事業で得られた成果と、事業を進める中で明らかになった教育上の課題を、県内外の高等教育機関、自治体、企業、NPO等の間で共有するためのシンポジウムを開催します。

### 事務局だより

コンソーシアム設立に向け、玉推進監が先行事例調査としまして「九州インターンシップ推進協議会」の視察に行きまして、事業最終年度に向けて、準備を進めて参ります。

このニュースレターを読まれて興味を持たれた方は、ぜひお気軽に常三島キャンパスの地域創生・国際交流会館3階の事務所にお越しください。お待ちしております。



徳島大学 COC プラス推進本部事務局（研究・社会連携部地域創生課内）

徳島市南常三島町1丁目1番地（地域創生・国際交流会館3F）

電話：088-656-9885 FAX：088-656-9880

e-mail：coc-plus@tokushima-u.ac.jp



